

新たな地産地消開拓戦略

プロジェクト

◇コンクリート舗装の利活用促進

プロジェクト	No	コンクリート舗装の利活用促進
	15	

目標	コンクリート舗装の使用範囲の拡大
----	------------------

現状と課題

- 舗装済み県管理道路におけるコンクリート舗装割合(延長比)は2.3%(全国平均 1.8%)
- コンクリート舗装は、トンネル部や過去にアスファルト材料の調達が困難な山間部、離島等で使用

取組方針

- 材料であるセメントが山口県の主要な地場産品であり、地産地消の観点から、また、耐久性が極めて高いという特性を生かす観点からも、コンクリート舗装の使用範囲の拡大を図ります。
- 県道等の一般道路に加え、農道、林道等についても、使用範囲の拡大を目指します。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> コンクリート舗装の活用促進に向け、県道等の一般道路に加え、農道、林道、漁港道路等の各道路について、使用範囲の拡大を検討する。 <input type="checkbox"/> コンクリート舗装の特性を踏まえた以下の4点の条件を満足する箇所について、原則としてコンクリート舗装を使用する。 ①地下埋設物の設置を伴う沿道開発が見込まれない箇所 ②軟弱地盤上でない箇所 ③早期に交通を開放する必要性が小さい箇所 ④騒音対策の必要性が小さい箇所 <input type="checkbox"/> 重車両交通量の多い道路では、積極的にコンクリート舗装を使用する。					
	工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	コンクリート舗装	・整備箇所の抽出 ・活用マニュアル作成				

材料であるセメントが山口県の主要な地産地消の観点から、また耐久性が極めて高いという特性を生かすという観点からも、コンクリート舗装の使用範囲の拡大を図る。

使用実績の継承

トンネル部、及び、アスファルト材料が調達困難な箇所において、引き続きコンクリート舗装を使用する。

使用範囲の拡大

全路線を対象に舗装の新設や打ち換えにおいて、コンクリート舗装の特性を踏まえた以下の4点の条件を満足する箇所について、原則としてコンクリート舗装を使用する。

- ① 地下埋設物の設置を伴う沿道開発が見込まれない箇所
- ② 軟弱地盤上でない箇所
- ③ 早期に交通を開放する必要性が小さい箇所
- ④ 騒音対策の必要性が小さい箇所

重車両交通量の多い道路では、積極的にコンクリート舗装を使用する。
上記③、④を満足しない箇所においても、早期に交通開放が可能となる工法や、騒音を低減させる工法のコストや効果を検証の上、コンクリート舗装を使用する。

県産材料を活用したコンクリート舗装使用範囲が拡大

= **新たな地産地消の開拓に寄与**